
バカとテストと+

月影 闇人

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

バカとテストと+

【Nコード】

N9002Z

【作者名】

月影 闇人

【あらすじ】

どうでもいいけど、神に間違えて殺されました。それが、まさかドイツの矢に直撃とは…しかし、なんだかんだで『バカテスト』へ転生することになった。

ハイこれはほぼ作者の妄想が詰め込んであります（たくさん）。しかも、作者かなりの文才がないシロートですのでいろいろとよくわからないところが出てきますがそれでも読んで言ってくれればいいです。

第0話 始まり(前書き)

皆さん、はじめまして

月影です

初めての投稿です

いろいろあれかもしれませんが読んでいってくださると嬉しいです

第0話 始まり

さて、いきなりだが皆さんに聞きたいことがある

俺は今、やけに真っ白の空間にいるんだけど、みなs「ここは、生と死の狭間じゃ」…えっ？

なんか、しわしわのくそジジイに答えられた

「いや、ワシはくそジジイではない」

「じゃあなんだよ？」

俺は少しイラツとしながらきいた

だってよ心の言葉を当てられたからな

そしたらジジイはよく聞いたという感じにこたえた

「神じゃ」

「ハア？」

どうやら、頭がイカれたジジイようだった

「ちなみにお前さんは死んでおる」

「!?!?くあwse d r f t g yぶじこーp;(なんだと?)」

「お前さん、せめて地球の言葉でしゃべれ。ならこの空間を見るんじゃ」

俺はしぶしぶ自称神というジジイが指を指したほうを向いた

そしたら、そこには俺がうつってた

「これはお前さんが死ぬ前の様子の映像じゃ」

今、映像には俺が親友同士と楽しそうに話してるのが見える

そしてしばらく見ると、

「んっ？」

なんか、上からなんか降ってきて俺の頭に直撃して、そこで映像は途切れていた

「これがお前さんが死ぬまでの様子じゃ」

「ちよつとまで、おれはいつたい何が頭にぶつかったんだ？」

そう聞いたら、じじいが苦い顔して答えようとしたら

「おじい様」

扉を開けて（てか、扉あつたんだ）女性が入ってきた

そして、その女性がこちらをみて顔をこわばらせた

ちよつと気になったので

「どうしたんですか？」

ときいたら、

「じつはな、お前さんは、ダーツの矢が当たって死んだのじゃ」

「は？」

俺は一瞬何を言ったのか理解できなかった

しかし、おれは

「説明しろ」

と脅していた

これいろいろとまずいと思ったけど、そんなことは気にしてられない

ジジイはびびりながら説明した

「説明するとな、孫とちよつとダーツをしていてな、しばらくやつ

ていてな」

ふむふむ

「そしてな、ちよつとわしがミスってな、矢をはずしたんじゃ。そ

れで、そのはずした矢がお前さんに直撃したんじゃ」

「ふざけんな。お前のせいじゃねえか。どうすんだよ」

「それは、これできめるんじゃ」

そしたら、どこから出てきたのかなんかでてた

それは……ダーツの的でした（回転するやつ）

書いてあるのは『地獄』、『天国』あとなんか小さく書いてあって

みえない

だがそんなことはどうでもいい

「貴様はまだ、ダーツがしたいのか」

ジジイは首を横に振り

「いや、ここの正式な決め方じゃ」

はあ？もはや運だめしじゃねえか

そんなことはどうでもいいかのようにジジイは

「ホイっとな」

矢を投げよった

そしてその矢は……小さく書いてあったやつに当たった

「ジジイなにが書いてあるんだ？」

俺はとにかく気になったのできてみた

そしたら返ってきた答えは

「転生じゃ」

「!?!」

転生だと、あの二次創作などでよく見るあの転生だというのは

「That's right! さて、お前さんはどこがいいんじゃない

？」

おれは、即答をした

「バカテス」とな

「OK」

とジジイはいつて

「お前さんを原作の少し前に飛ばす。着いたら、引き出しを開けて

みるんじゃない」

そして

「good luckじゃ、『黒崎 零』」

そこで俺は意識が途絶えた

第0話 始まり（後書き）

次も読んでくれるとうれしいです

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9002z/>

バカとテストと+

2011年12月28日08時56分発行